

経営比較分析表（令和3年度決算）

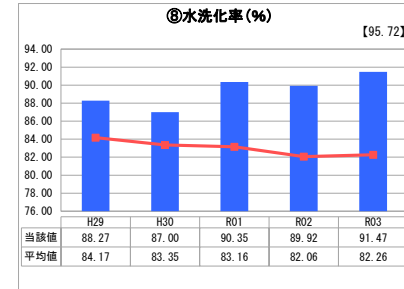
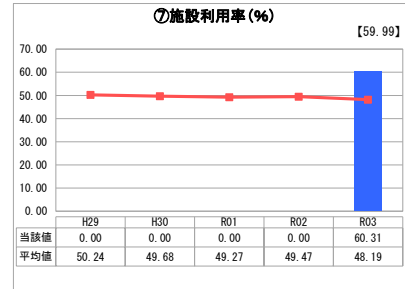
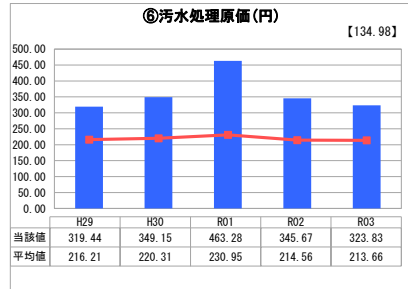
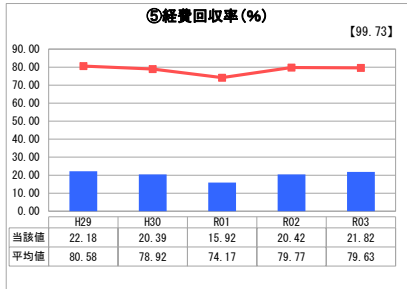
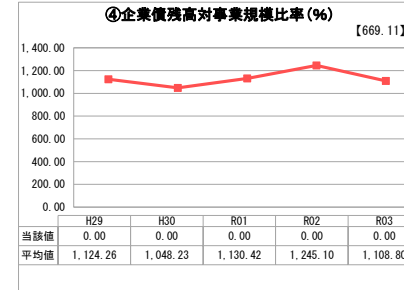
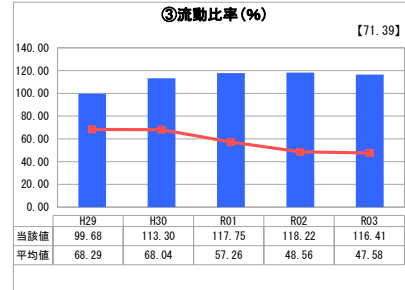
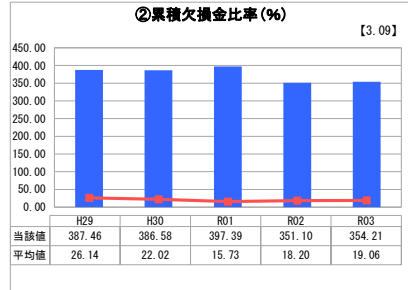
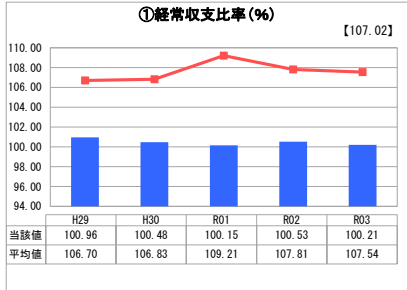
青森県 六ヶ所村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.21	59.33	84.69	1,397

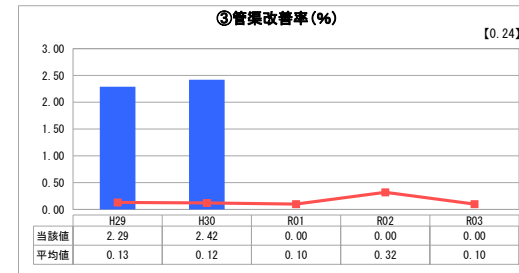
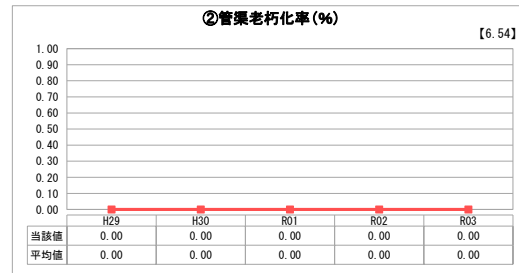
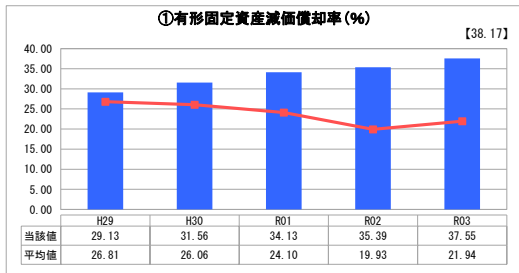
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,999	252.69	39.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,912	4.02	1,470.65

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えているが、ほぼ横ばいであり、経費回収率は20%程度で推移していることから、使用料によって必要経費を賄うことが出来ていない状況で、一般会計からの繰入金に頼っている。

累積欠損金比率は、公営企業化した際の欠損金が大きく、まだまだ高い標準となっているため、経費回収率を高める等の改善が必要となる。

水洗化率は高い標準となっているものの、汚水処理原価は類似団体と比較し、高額となっているため、公共下水道と農業集落排水の統合を進めるなど、より効率的な管理を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

公共下水道の公共開始は平成14年からであり、比較的新しいため、老朽化による更新は現状まだ行っていない。

今後、施設の設備の耐用年数が経過して来ることから、個々の資産の老朽化について詳細なストックマネジメント計画を策定し、適切な点検・更新を進めていくように努める。

全体総括

整備が概ね完了し、水洗化率も高い水準となっているが、経費の回収は使用料収入で賄うことができず、一般会計からの繰入金に頼っている状況であり、使用料単価の改定や管理の効率化など、経営基盤の強化を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。